

## ボットとスクレイパーとは何ですか？

ボット（ウェブロボットとも呼ばれる）とは、インターネット上で自動化されたタスクを実行するソフトウェアアプリケーションです。ウェブボットおよびスクリーンスクレイパー（ウェブページから情報をスクレイプする）は、検索エンジン、競合他社、他の第三者組織によって設置される場合があります。これらには、良性のボットと呼ばれる Googlebot（ウェブページの情報を収集してインデックスを作成し、それらの情報を表示するためのボット）から、分散型サービス妨害（DDoS）攻撃のようにサーバーに過大な負荷を与えるボットまでさまざまなものがあります。

## ウェブボットは何のために使用されますか？

ウェブボット、スクレイパー、および他の自動化されたアプリは、競合他社の情報収集、コンテンツの集約、位置情報の追跡、メタ検索エンジンへの情報提供などに使用される可能性があります。たとえばウェブボットは、金融アグリゲーターがポートフォリオデータをすばやくスクレイプするために利用することがあります。競合他社がボットを設置し、インベントリの詳細を収集して、類似製品をより低価格で販売するといったケースもあります。

## ウェブボットはどうしたら検出できますか？

ボットは、リクエスト内の情報、リクエスト数、リクエスト速度、その他の動作特性など、さまざまな方法で検出することができます。それらは、望ましさや攻撃性に基づいて、主に次の4つのカテゴリに規定されます。

- 有益性：高、攻撃性：低
- 有益性：低、攻撃性：高
- 有益性：高、攻撃性：高
- 有益性：低、攻撃性：低

## ボットはなぜ問題になるのですか？

IT の視点では、攻撃性のあるボットやコードに不備のあるボットは、ウェブインフラストラクチャに過剰に負荷をかけて、サイトの速度低下やレイテンシーの増大を招く場合があります。Akamai が発見したあるケースでは、ボットが1秒間に数千回ものリクエストを送信

していました。これは、人間がウェブブラウザから送信できる数をはるかに超えています。このようなボットのトラフィック量は、たとえそれが良性のボットからのものであっても、IT インフラストラクチャに望ましくない負荷を与えます。多くの組織では、サイトトラフィックの40～60% がボットから送信されている場合もあります。

ビジネスの視点では、ウェブボットは良い影響、悪い影響の両方をもたらします。Googlebot のような良性のボットは、企業のオンラインビジネス戦略に不可欠です。同業他社、コンテンツアグリゲーターまたは不正流通業者が運営するボットは、御社とお客様の間に入り邪魔をします。その結果、御社のオンラインビジネス戦略に対する制御が失われ、販売機会を逃し、お客様との関係を悪化させることになります。

## ウェブボットの悪影響を低減する最良の方法とは？

これまで、ボットへの緩和（ブロック）対策は画一的なものでした。こうしたアプローチには、検索エンジンでの表示順位が低下したり、オンラインビジネスの目標達成に悪影響が及んだりといった副作用があります。さらに、そのような対策は長期的にみると効果的とは言えません。なぜなら、ブロックされたボットは変異し、さらに検出が困難な形で戻ってくるためです。

ボットによる IT およびビジネスへの悪影響を低減するには、御社のサイト上のすべてのボットタイプに対して識別およびカテゴリ分けを行い、それぞれを区別して対処することが必要です。Akamai は、ボットを緩和ではなく管理するアプローチを推奨しています。サイト所有者は、各ボットカテゴリに対し、その必要性と負荷に基づいて異なる管理ポリシーを適用する必要があります。

ウェブボットに対する「緩和ではなく管理」のアプローチによって、サイト所有者は追加のボットトラフィックへの対処に必要なインフラストラクチャや IT オーバーヘッドを低減することで運営コストを削減できます。また、ユーザー体験の向上、競争力の維持、さらには詐欺行為の阻止にもつながります。

識別すべき良性のボットの管理と詳細について確認するには、こちらを[クリック](#)してホワイトペーパー「スクレイパー／ボット シリーズ：よいボットが悪いボットになるとき」をダウンロードしてください。

コンテンツ・デリバリー・ネットワーク（CDN）サービスのグローバルリーダーとして、Akamai は、インターネットを高速で確実、かつ安全なものとしてお客様がご利用いただけるようにします。Akamai の先進的なウェブパフォーマンス、モバイルパフォーマンス、クラウドセキュリティおよびメディアデリバリーの各ソリューションは、デバイスと場所を問わず、コンシューマー体験、エンタープライズ体験、およびエンターテインメント体験を企業が最適化する方法を大きく変化させています。Akamai のソリューションとそのインターネット専門家チームが、企業のより速い進歩にいかに関与しているかについて、[www.akamai.com/jp/ja](http://www.akamai.com/jp/ja) または [blogs.akamai.com/jp/](https://blogs.akamai.com/jp/) および Twitter の @akamai\_jp で詳細をご紹介します。

Akamai は、米国マサチューセッツ州ケンブリッジを本拠地として、世界中に 57 を超える拠点を展開しています。Akamai のサービスや質の高いカスタマーケアは、世界中のお客様に比類のないインターネット体験を提供し、確かな競争上の優位性をお約束します。全事業所の住所、電話番号、および連絡先情報は、<https://www.akamai.com/jp/ja/locations.jsp> に記載されています。